



霜田求さんとともに考える「遺伝子検査ってどこが問題なんですか？」

生活者一人ひとりができるCare(食)とCure(医療)/ナノリスクに警告集中
水俣病事件における歪曲作用/博物館の展示は何かを伝えるのですか? その2
ドイツにみる科学と思想/大気汚染と出生体重



市民研へのご入会 / ご寄付のご案内

この「市民研通信」に紹介されている記事論文など、市民研の活動成果は、どなたであっても無償で読んでもらえるように、ホームページですべてを公開しています。市民研では、こうした非営利・完全公開の趣旨に賛同し支えてくださる方々に、ご入会やご寄付をお願いしています。

入会と寄付に関しては3つの選択があります

1.ワンコインサポート 500円を市民研に送金することで市民研を支えるやり方です。

入金と同時に「3ヶ月間のお試し会員」になることができます。「お試し会員」を希望される場合はその旨をお伝えください。関連資料を送付いたします。希望されない場合は、ご寄付として扱わせていただきます。

2.会員登録 年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。

- ★レイチェル会員………年会費 10,000円 (総会における議決権あり)
- ★ダーウィン会員………年会費 3,000円

会員になると、

- 「市民研通信」+別刷論文1編が隔月で送付されます。
- 過去の市民科学講座などの配布資料をPDFでダウンロードすることができます。
- 事前に連絡をいただければ各研究会にskype参加ができます。
- 市民科学講座などイベントのu-streamの予告お知らせが届けられます。
- 市民研メーリングリストならびに各研究会メーリングリストに参加できます。
- 市民研所蔵の書籍、映像資料が利用できます。

3.寄付 一口1,000円から受け付けております。

※ご送金の方法:以下の3つのいずれかでお願ひ致します。(市民研ホームページからも受け付けています)

郵便振替………口座加入者名:市民科学 振替口座番号:00160-4-608503

銀行口座………三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通預金口座:4592759
口座名義:特定非営利活動法人市民科学研究室

PayPal ……手数料がかからない国際的に利用されているオンライン送金システムです。

Event 料理講座・パーティーとも申し込み(メール/電話/ウェブ申し込みサイト)は12/18まで。

市民研クリスマス会2015にいらしてください!

毎年40人~50人が集い、20種類近い美味しい料理と、興味深いミニ発表やパフォーマンスで好評の市民科学研究室・クリスマス会。今年は、25日が過ぎてからの催しとなりますが、来年2016年に向けての思いを楽しく語り合う機会にしたいと思ひます。ご家族、ご友人にもお声がけください。ご参加をお待ちしています。



- 開催日** 12/27(日) 料理講座 / 11:00 - 13:30 パーティー / 14:00 - 17:00
- 場所** 江東区「総合区民センター」7階調理室および隣接する第3研修室
- 定員** 料理講座は20名 / パーティは50名
- 参加費** 料理講座は無料
パーティー参加費は3,000円(小学生以下1,500円)+差し入れ1品

Event 市民研 食市民研・食の総合科学研究会+NPO法人ポラン広場 共催

子ども料理科学教室 最終回 「マイ・レシピでおいしく作ろう!」若干名募集中!

4月から立川市で毎月実施してきた「子ども料理科学教室」がいよいよ最終回を迎えます。最初に美味しい3品を味わって、そのレシピを自分で作り、それをもとに再現します。

- 開催日** 12/20(日) 10:00-12:00 / 交流会 12:00 ~ 14:00
- 場所** 立川市女性総合センターアイム 料理実習室
- 対象** 小学4年~中学3年生 **参加費** 500円

Information 市民研サポーターを募集しています!

6月の総会前後に「特別支援カンパ」のお願いをいたしました。会員の皆様からはこの半年のほど間に計30万円ほどのご寄付いただくことになりました。心より感謝申し上げます。



市民研は全国の会員の皆様に支えられて、代表、事務局、理事メンバー、非常勤研究員、各研究会の世話人らが中心になって活動していますが、様々な業務でボランティアでの(場合によってはアルバイトでの)助けを必要としています。「市民研サポーター」としてご助力いただいている方が現在数名いらっしゃいますが、もっと多くの方々に担っていただきたく、以下に主だった作業を列記します。

直接事務所に来て、あるいは自宅で(場合によってはskypeを使って)、と大別されます。「市民研サポーター」を担っていただける方はぜひご一報ください!

直接事務所に来て行う作業にきて行う作業

- 発送作業(下準備、当日(奇数月の最終金曜日を予定)/書籍・文献・資料の整理/
- ホームページでのアーカイブファイルの整理/市民科学講座受付業務(イベント会場で)

自宅で行う作業

- 市民科学講座テーブル起こし/ホームページでの「他団体のイベント」ページなどの更新/
- 「通信」ゲラ校正/翻訳/録画 DVD タイトル入力

Event 市民科学講座 B コース

2015年7月から始まった市民科学講座Bコース。第1期は2015年7月から2016年6月までの1年間で、全14回です(毎月1回、8月と3月は2回)。

第7回 12/23(祝・水)

榎木英介さん、STAP細胞事件は小保方さんだけが悪いんですか?

●榎木英介: 病理診断医、「イエンズ・サポート・アソシエーション」代表。東京大学理学部生物学科動物学専攻卒業後、大学院博士課程まで進学したが、研究者としての将来に不安を感じ、一念発起し神戸大学医学部に学士編入学。卒業後病理医になる。兵庫県内の病院勤務を経て、現在近畿大学医学部附属病院臨床研究センター講師。病理医として日夜働くと同時に、若手研究者のキャリア問題や、医療のあり方を考える活動を行っている。「博士漂流時代」(ディスカヴァー・トゥエンティワン、科学ジャーナリスト賞2011受賞)、「医者ムラの真実」(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、「嘘と絶望の生命科学」(文春新書)ほか。



- 時間** 14:30-17:00 (14:00開場)
- 場所** 光塾COMMON CONTACT並木町
- 参加費** 1000円(学生500円)

⇒事前予約が必要です(定員40名先着順、申し込みは市民研ホームページより)



市民研ホームページ
www.shiminkagaku.org
を開いてみてね!
「検索」(HP右上)を使うと役に立つ情報がすぐ得られます。

生活者一人ひとりができる Care(食)とCure(医療)

七色は虹。人と人をつなぐ架け橋。七色は多様性。違いを楽しみ共生するコミュニティ。双葉は私たち生活者一人ひとり。ひとつずつ、気づきを、学びを、健康になるための知恵を、自分の中に育むことを、表紙に掲げたこのロゴマークは表現しています。はじめまして。

『学びの食卓』プロデュース 代表の武藤麻代です。当団体が活動を始めて僅か2年。しかし、その原点を遡ると今から7年も前のこととなります。改めて振り返ると、随分と時間がかかったものだなと思う反面、いつ最期の時が訪れても、「十分やり切った」と思える気持ちで過ごす時間が7年経過し、今なお続いていることに安堵と少しの喜びを感じます。……

⇒つづきは市民研 HP で



「人間のための科学」にみる科学のねじ曲げ(Bending Science)の発表から 水俣病事件における歪曲作用 —ある行政機関報告書に掲載された科学者名簿の意味— 中野浩(東京海洋大学教員、市民研bending science研究会メンバー)

1961(昭和36)年3月、第4回水俣病総合調査研究連絡協議会でいわゆる有機水銀説はあいまい化される。新潟水俣病の発生後、水俣病事件を管轄していた経済企画庁は、1967(昭和42)年4月に『水銀問題特殊調査』という熊本での水俣病の経緯を記した資料を作成する。そこには前記協議会に参加した科学者名が一括掲載されていた。この名簿掲載が水俣病事件の歪曲にどのように作用したのか報告してみた。

有機水銀説あいまい化以降、経済企画庁は水俣病に関する研究・調査を何もしていない。新潟水俣病発覚後、国会で水俣病問題を放置したのは何故かと問われても、経済企画庁官僚たちは1961年当時の水俣病総合調査研究連絡協議会の科学研究でも水俣病の原因はわからなかったと繰り返す。『水銀問題特殊調査』に協議会参加科学者名簿を掲載することによって、科学の権威が水俣病放置の正当性を示すということである。このことは都合のよい科学だけを根拠に経済企画庁官僚が水俣病を放置してきたことを意味するのではなかろうか。そこで水俣奇病と言われた疾病に罹患した人々の治癒を目指すべき科学研究が、水俣病放置の根拠へと歪められていく過程を浮き彫りにすることで、科学の歪曲をどのように考えることができるのか、その一例を提示した。……

⇒つづきは市民研 HP で

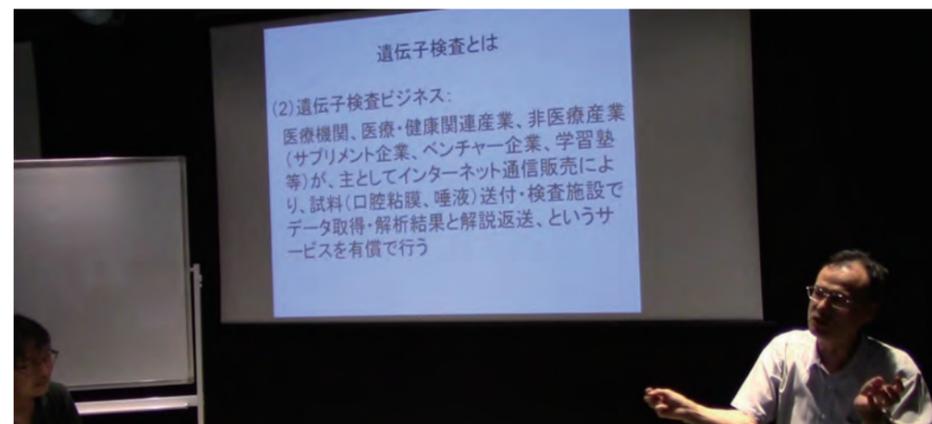
◀記事出典▶ 毎日新聞西日本版 1961年3月7日

水俣病にまた異説
病源、さらに広く追及か

霜田求さんとともに考える 遺伝子検査って どこが問題なんですか？

遺伝学的検査(genetic test)をご存知だろうか？ 検査・診断および遺伝カウンセリングと合わせて「遺伝子診療」として医療機関で実施されるばかりでなく、インターネットで消費者に直販するもの(綿棒による口腔粘膜採取試料や容器に入れた唾液の郵送と結果通知の返送)も出てきている。がんや高血圧、心臓疾患、肥満や糖尿病など「予防」への役立ちを謳った「健康診断」や「体質検査」であり、サプリメントの販売促進がくっついていたりする。また、医療目的以外にも、欧米諸国での「祖先検査」やアジア諸国の一部でも拡大しつつある「子ども才能検査」や「スポーツ能力検査」もある。こうした検査は科学的・臨床的に妥当なものなのか？ また個人情報保護やサービスの品質保証で問題は生じていないのか？ 差別や親子関係への不当な介入とならないのか？ ……倫理的・法的な問題が山積しているように思える。この問題にお詳しい霜田さんに、現状と問題点を整理していただいた上で、参加者と議論した。

⇒以下、講座記録は市民研 HP で



連載 博物館と社会を考える 第4回 博物館の展示は何かを伝えるのですか？その2

前回は滋賀県立琵琶湖博物館の常設展示で、博物館の研究員の「顔が見える」展示を検討しました。今回はそのもう一つの例として、パナソニックセンター東京(東京都江東区有明)に実験的に設置された展示施設「ダイノソアファクトリー」を見て行きます。ここでは研究員の「顔が見える」ことに加えて、化石や地層の研究がどのように進められてきたのか、いま進められているのかを来館者に理解させ、その過程に参加を促すように巧みに組み立てられています。……

⇒つづきは市民研 HP で

▼ダイノソアファクトリーの受付カウンター 来館者全員に1人1台ずつ貸し出す携帯情報端末(PDA)「FACT scope」が背景の壁に展示されている。来館者は最初にここで端末を受け取り、操作方法を聞いてから館内へと進む。(2002年10月5日撮影)



ナノリスクに警告集中

2014年の夏は、ナノ毒性についての新しい有害性の検出、新手法による研究成果、識者による提言、行政機関の規制指向、それに対抗するナノ企業の抵抗への批判などが相次いで報告され、ナノ産業は「四面楚歌」に直面し、苦悩し翻弄されて寝苦しい「悪夢」として過ぎ去った。

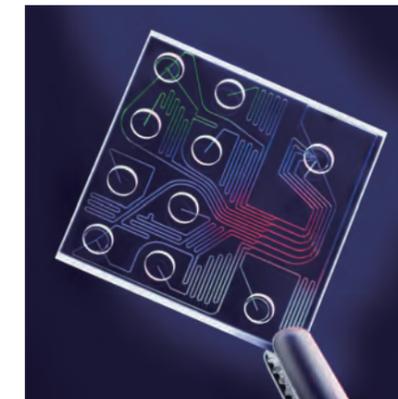
ナノテク開発者が、リスクの克服との同時進行の必然性を理解しようとせず、不可欠な科学的対応を無視している現況は、自らのイノベーションの将来を危うくし、「自縛自縛の罫」による大きな損失を招いている。しかも、その重大性を自覚していないところが暗愚の「悲劇」である。

ナノリスクに関して、誰の主張が正しいのか？ その非理の判定は極めて簡単である。それはナノテクノロジーにより、陰に陽に利益を得ているグループの考え方は、社会的正義の判断の基礎にバイアスによる歪みが直視できるので、その妥当性の欠落は一目瞭然である。……

⇒つづきは市民研 HP で

関連論文・資料

- ① 日本における研究ガバナンスの崩壊—研究不正根絶のための最終提言—
- ② 【翻訳】欧州委員会：環境政策科学ビルのナノコーティングは毒性粒子類を空气中に放出
- ③ 【翻訳】摩耗および風化によるビル資材二酸化チタンナノ粒子類の排出
- ④ 光触媒からのナノチタン粒子の劣化放出



ドイツにみる科学と思想

ドイツに短期間滞在することになり、ここ2ヶ月ほどボンの市街地で暮らしています。ボンは旧西ドイツの首都で、ベートーヴェンの生地やシューマンの死地として知られています。マルクスやニーチェが学び、物理学者のヘルツや経済学者のシュンペーターが教鞭を取ったボン大学が小さな街の一角を彩り、側を流れるライン川を取り囲んで緩やかな丘陵地が広がっています。秋は週末になると近郊のあちこちの街や村で収穫祭が賑やかに繰り広げられ、地元のワインを楽しむこともできました。

ボンより南に電車で2時間あまり下ったモーゼル河畔にベルンカステル・コースという小さな街があります。中世の神学者・哲学者として知られるニコラス・クザーヌスはこの地に生まれ、教会改革に注力しながら神や真理を追究するいっぽう、コペルニクスより先に地動説を唱えるなど自然科学的な関心も深めました。……

⇒つづきは市民研 HP で



Overseas Document

『環境健康展望』(Environmental Health Perspectives) 123巻9号(2015年9月)より次の2本の論文を翻訳し掲載しています。

- ① 大気汚染と出生体重—重大な影響を持つ曝露期間となる得ることについての新しい手がかり—
Air Pollution and Birth Weight: New Clues about a Potential Critical Window of Exposure
- ② 深海へ—海底採掘に向けた慎重な段取り
Going Deep: Cautious Steps toward Seabed Mining